

山梨県理学療法士会会報誌

# SUPPORTERS

サポーターズ

No.130 2011 夏号

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 604 名 施設数 94 (5月13日現在)



## 40周年・全研・法人化

～今期2年間の活動に向けて～

山梨県理学療法士会 副会長 小林 伸一

今期士会活動の開始に当たり理事会を代表してご挨拶申し上げます。  
今期は役員改選を経て再任された谷村会長のもと、社会局長に小林正典、広報局長に青柳彰浩両先生方が新たに加わりスタートを切りました。

今期も知識・技術の研鑽へのサポートとしての「学術研修会」や年々改訂される基準や報酬の「情報収集と提供」、士会活動や理学療法等を内外に広くインフォメーションする「啓発・広報活動」、日々の活動を発表し会員相互に学び合う「学術集会」等を柱に、継続的に取り組まれている諸活動を先ずはしっかり遂行していきたいと考えています。その上で今期は標記3つの課題があります。ひとつには今年度は士会創立40周年の年です。大々的な行事は行いませんが、諸先輩方が地道に築き上げてきた貴重な足跡を平山委員長のもと記念誌として残し、士会の歴史を振り返るとともに継承していきます。次に士会史上初の全国規模の研修会、第46回全国学術研修大会が10月6(木)・7(金)日に予定されています。現在、磯野準備委員長を中心に成功に向けて準備を進めているところです。そしてもうひとつが、予てからの懸案事項であった法人格の取得です。有泉委員長が今期中に一般社団法人を取得できるよう準備を進めています。その他色々な課題を抱えておりますが、いずれにしても全士会員のご理解・ご協力なくして課題の達成や士会運営は成り立ちません。今期2年間理事一同微力ながら奮闘していく所存です。引き続き全士会員のご支援を頂けますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、誠に残念ながら改選を機に清水文彦広報局長・川野正巳社会局長が次期への充電期間を是非・・・、との強い希望で退任になりました。合わせて、部長・部員で退任される先生方も多くおられます。任期中のご苦勞に対しまして敬意を表します。今後とも大所高所からのご意見を頂ければと思います。

## Contents

40周年・全研・法人化～今期2年間の活動に向けて～… 1  
第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨… 2  
平成22年度山梨県理学療法士会総会開催… 3～9  
新人教育プログラム修了者51名… 9  
各部活動報告… 10

お知らせ… 11～13  
原稿募集… 13  
リレーエッセイ Part 12… 14～15  
編集後記… 15

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

# 第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨

## 寄付金・機器展示企業募集のお願い

第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨  
準備委員会 広報・渉外局

東日本大震災で被災されました方々に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、本年10月に開催される「第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨」まで、残り4か月を切りました。

「原点回帰“再考・今、理学療法士に何が求められているか”」というテーマのもと、準備委員会を中心に一丸となって準備を進めております。

本大会の開催運営に際しましては、ご承知の通り多くの資金が必要であり、関連企業・養成校・県士会員所属施設等々にご協力をお願いしているところです。

お陰様で、皆様より快いご返答を頂き、徐々に協賛金等も集まりつつある状況ではありますが、まだ安定的に大会を開催できるまでの金額には到達していません。長引く不況に加え、昨今の震災の影響もあり、期待された関連企業からの機器展示への出展等が少なく、十分な支援・援助を受けられていないのが現状であります。

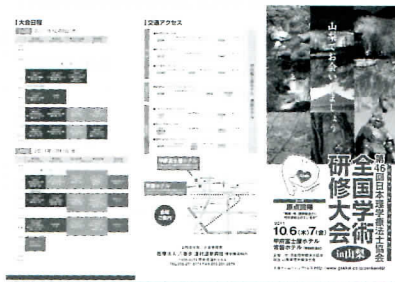
そのような状況のなか、重々苦しいお願いをしている事は承知の上で、県士会員の皆様に再三となりますがご協力・ご支援をお願い申し上げます。

つきましては、県士会員の各所属施設・病院に再度、協力をお願いをさせていただくとともに、協力をお願いできそうな関連企業、養成校等をご存知な方は、お手数ですがご協力の働き掛けをお願い致します。趣意書等、必要書類は直ぐにお送り致しますので、問い合わせ先まで連絡の程をお願い致します。

なお、寄付金は、大会前日の10月5日まで受け付け可能ではありますが、「理学療法学 学術研修大会特別号」に協賛施設・企業として掲載するには7月14日までが締切となります。

## 第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨をアピール

5月27～29日の三日間、宮崎県で開催された「第46回日本理学療法学会」にて、広報活動として大会長をはじめ準備委員にて、参加者へリーフレットの配布、PRブースで山梨県の観光紹介、震災復興チャリティーパーティーでのPR等、秋の山梨県大会を存分にアピールしてきました。



☆ 問い合わせ先：広報・渉外局 杉田隆信（りほく病院）  
(TEL:0551-28-8821 E-mail:t-sugita@keishin-g.or.jp)

# 平成22年度山梨県理学療法士会総会開催

平成22年度山梨県理学療法士会総会が、去る4月8日(金)甲州リハビリテーション病院大木記念ホールにおいて開催されました。

当日は、総会員数604名に対し、118名(委任状267通)の出席を頂きました。議長は、藤波先生(しおかわ福寿の里)、宮野先生(甲府城南病院)が選出され、提出議案が審議されました。



## ～平成22年度山梨県理学療法士会 総会議事録～

日時：平成23年4月8日(金) 午後6時30分～20時

会場：大木記念ホール

議長：藤波 宮野 書記：鮎川 小林 議事録署名：高木 町田



正会員数604名に対し、出席者数118人、委任状267通 会則22条に基づき会員数の過半数の出席により本総会は成立した。

### 第1号議案 平成22年度事業決算報告

会長 県士会総会、理事会、新人教育プログラム講義、第46回全国学術研修大会準備委員会、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、連盟に出席

副会長 理事会、担当部局会議の開催・出席

監事 中間監査、年度末監査の実施

代議員 第39回日本理学療法士協会代議員会出席

### 事務管理局

#### 総務部

会員動向の把握・諸手続き(会員数604名、施設数90施設)

士会員への事務連絡

慶弔関係の諸手続き(弔電2通、祝電15通)

理事会開催(計9回)

定期総会・中間監査・最終監査の開催

関係団体との提携及び協賛・後援依頼の回答

インターネット接続管理

団体総合保障の更新

事務管理局会議の開催・諸会議への出席

平成22年度交流会の開催

#### 財務部

会費徴収：実徴収者数559名(内新入会員70名)

未納者数 8名

会員証：クレジット付帯会員証発行者数507名(内新入会員22名)

協会本部会費納入手続き

協会本部口座登録手続き

什器備品在庫目録・財産管理

中間監査・最終監査の開催

諸会議への出席

## 広報局

### 広報部

1. 理学療法週間の活動（会報誌へ理学療法週間を掲載、各施設へPTあ！を配布）
2. 「いきいき山梨ねんりんピック 2010」にて啓発活動の実施
3. 公開講座にて啓発活動

### 会報部

1. 士会会報誌発行（年4回）実施
2. 企画会議（年4回）編集会議（年4回）実施
3. 各種取材活動（年13回）

### HP管理部

1. 士会ホームページ随時更新
2. 理事会にて情報収集
3. 士会ホームページレイアウトなどの検討

## 学術局

### 生涯学習部

#### プログラム

I-1	6月10日	参加人数 79名	I-2	6月10日	参加人数 82名
I-4	6月24日	参加人数 82名	II-1	6月24日	参加人数 82名
II-2	11月26日	参加人数 63名	II-3	11月9日	参加人数 58名
II-4	11月26日	参加人数 63名	II-6	11月9日	参加人数 56名
III-1	2月24日	参加人数 66名	III-4	2月16日	参加人数 58名
III-3	2月16日	参加人数 62名			

### 学術集会部

#### 第14回山梨県理学療法士会学術集会開催

日 時：平成22年12月12日（日）  
 場 所：山梨県立大学 池田キャンパス  
 内 容：特別講演、一般演題 39 演題  
 参加者数：273名（含非会員1名、学生4名）  
 託児室利用者（児）：5名

### 学術研修部

#### 学術研修会（年4回開催）

- 第1回学術研修会：「整形外科疾患における臨床動作分析について」  
 「皮膚と運動について」  
 第2回学術研修会：「呼吸理学療法～フィジカルアセスメントを中心に～」  
 第3回学術研修会：「SJFについて」  
 第4回学術研修会：「浮腫のリハビリテーション」

## 社会局

### 委託事業部

1. 身体拘束廃止推進事業関係  
 平成22年度の身体拘束廃止専門相談員として7名を推薦  
 1) 「高齢者権利擁護等推進事業」並びに「身体拘束廃止推進専門相談員派遣事業」推進会議1回実施  
 2) 高齢者権利擁護等推進員養成研修 対象施設を替えて2回実施  
 3) 高齢者権利擁護等事例報告検討会1回実施
2. いきいき山梨ねんりんピック 2010
3. 依頼事業  
 1) 平成22年度介護講座1回実施  
 2) 平成22年度地域リハビリ従事者研修会1回実施  
 3) 平成22年度巡回腰痛予防教室1回実施

## スポーツ理学療法部

スポーツ理学療法勉強会 3回実施

競技スポーツ 大会：2大会をサポート

チーム：9チームをサポート

講演・講習：士会またはスポーツ部への依頼に随時対応

その他：いきいき山梨ねりんピック

関東甲信越ブロック理学療法士学会演題発表

研修会：部員を対象に毎月2回実施

## 企画局

### 公開講座部

講座「みんなつながるコンサート」を開催

### 企画研修部

1. 企画研修部研修会 テーマ：「応用行動分析学を用いた臨床実習指導・新人教育」を開催

2. 臨床実習指導者研修会 テーマ：「身体拘束について学び、高齢者の権利擁護を考える」を開催

### 調査研究部

1. 公開講座アンケート調査(平成22年8月)

2. 部内会議開催

3. 局会議開催

4. 理学療法士に対するアンケート調査

5. 公開講座アンケート調査(平成23年3月)

## 福祉厚生局

### 医療保険部

1. 医療保険制度に関する情報入手とHPへの掲載

2. 医療・介護報酬に関する基礎的勉強会の実施(年2回)

3. 医療保険に関する問い合わせへの対応

### 介護保険部

1. 介護報酬に関する問い合わせへの対応

2. 介護保険改定情報に関しての情報収集

3. 介護報酬等に関する勉強会の開催(医療保険と合同開催)

### 地域連携部

1. 理学療法相談窓口についての広報活動

2. 理学療法相談窓口の対応

3. 第11回地域理学療法研修会の開催に向け検討

4. いきいき山梨ねりんピックでの理学療法相談対応

5. 地域理学療法についての情報収集

## 全国学術研修大会実行委員会

全体・会議 1. 全国研修大会準備委員会(5回)

2. 合同準備企画会議(1回)

3. 第45回全国学術研修大会視察

4. 協会理事会(1回)

事務局 1. 準備委員会の日程調整・準備・議事録作成

2. 協会との連絡窓口

3. 第45回全国学術研修大会視察 各手続き・準備

4. 理学療法学掲載文

5. 視察

6. 事務局会議(1回)

運営局 1. 日程プログラム(案)作成

2. スタッフ配置(案)作成

3. 会場配置図(案)作成
4. 視察
5. 諸会議参加

企画局 1. 企画局会議の開催(4回)

#### 法人化実行委員会

1. 定款草案作成(現在進行中)
2. 協会・各都道府県士会及び関係団体の法人化に対する動向調査(適時)

#### 選挙管理委員会

1. 理事会出席
2. 公示文章を113施設(個人会員を含む)に発送
3. 立候補締切日(立候補者なし)
4. 告示文章を117施設(個人会員を含む)に発送

#### 40周年記念事業検討委員会

1. 山梨県理学療法士会理事会にて添付文章により、進行状況及び今後の方針について確認
2. 平成23年度の事業案及び予算案・平成22年度事業報告を提出

#### 訪問理学療法委員会

1. 三士会合同リハビリテーション研修会実行委員会参加
2. 訪問リハビリテーション研修会開催参加・協力(4回開催)

平成22年度山梨県理学療法士会最終収支報告 総会資料参照

平成22年度山梨県理学療法士会財産目録 総会資料参照

平成22年度山梨県理学療法士会什器備品目録 総会資料参照

第1号議案は、拍手多数にて承認される。

#### 第2号議案 平成22年度監査報告

平成22年10月13日 中間監査実施

平成23年4月4日 年度末監査実施

##### 1. 監査内容

事業報告、収支報告並びに通帳、財産目録、什器備品目録について

##### 2. 監査結果

- ・年間事業の執行は、順調に行なわれたものと認める。
- ・決算報告書、会計帳簿等についての監査の結果、財産は適正に管理運営されていたものと認める。

##### 3. 監査考察

- ・東日本大震災のために中止になった事業もあったが、各部局の事業が積極的に展開され、参加者も多く順調に行なわれている。
- ・年度の繰越金の適正化が今後検討が必要
- ・10月開催予定の全国学術研修大会に向けて努力して準備を進めて頂きたい。

第2号議案は、質疑なく拍手多数にて承認される。

#### 第3号議案 役員改選(会長・副会長・監事)

公示を行うが立候補者がいなかったために、理事会にて推薦

会 長：谷村英四郎先生

副会長：小林伸一先生、高村浩司先生

監 事：石原正文先生、田村稔先生

第3号議案は、拍手多数にて承認される。



**第4号議案 平成23年度事業計画・予算(案) 審議****「事業計画」****会 長**

県士会総会、理事会、新人教育プログラム講義、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、連盟に出席予定

**副会長**

理事会、担当部局会議の開催・出席予定

**監 事**

中間監査、年度末監査の実施予定

**代議員**

日本理学療法士協会代議員会出席予定

**事務管理局****総務部**

会員の登録管理、諸会議の開催と議事録の保存、交流会の開催

**財務部**

会費徴収

**広報局****広報部**

1. PT週間活動として、協作成のPTあ！を配布
2. いきいきねんりんピックへの参加
3. パンフレットの作成

**会報部**

1. 会報誌発行(年4回)
2. 部内企画会議・編集会議開催

**HP管理部**

1. HP管理部会議(年4回)
2. 士会ホームページ随時更新

**学術局****生涯学習部**

3年間で18テーマ実施予定

**学術集会部**

第15回山梨県理学療法士会学術集会開催の要項発送  
平成23年12月11日(日) 予定

**学術研修部**

学術研修会(年4回開催) 予定

**社会局****委託事業部**

1. 高齢者権利擁護等推進事業(身体拘束廃止派遣相談への参加は削除)
2. いきいき山梨ねんりんピック2011
3. 地域リハビリテーション従事者研修会

**スポーツ理学療法部**

1. スポーツ理学療法勉強会3回実施予定
2. 競技スポーツへのサポート

**企画局****公開講座部**

一般市民に向けた講演会を予定

**企画研修部**

士会員を対象とした2回の研修会を予定

## 調査研究部

アンケート調査を実施予定

## 福祉厚生局

## 医療保険部

平成23年度診療報酬に関する情報整理と配信

## 介護保険部

介護保険制度や介護報酬に関して動向把握と情報収集

## 地域連携部

1. 理学療法相談窓口の対応と実績づくり
2. 第12回地域理学療法研修会開催予定

## 全国学術研修大会実行委員会

## 全体・会議

1. 準備委員会開催
2. 協会理事会
3. 広報活動
4. 関係機関協力依頼
5. 第46回日本理学療法士協会全国学術研修会

## 事務局

1. 準備委員会の日程調整・準備・議事録作成
2. 協会との連絡窓口

## 運営局

1. 日程プログラム調整・決定
2. 大会運営マニュアルの開催

## 企画局

各講師・司会者への連絡・調整

## 広報・渉外局

パンフレットの決定・制作

## 法人化実行委員会

一般社団法人格の取得：取得に向けて必要事項の確認、理事会への提案

## 表彰委員会

協会賞推薦、及び他機関からの表彰の推薦依頼に関して検討する

## 選挙管理委員会 選挙の開催（日本理学療法士協会代議員選挙）

## 40周年記念事業検討委員会 記念誌の作成

## 訪問理学療法委員会

「訪問リハビリテーション従事者研修会」への企画・運営協力

## 平成23年度山梨県理学療法士会予算（案）総会資料参照

## 質疑応答（意見）



1. 年間を通して、被災者・被災地に対する支援活動を検討してほしい。
2. 各種の情報を確実に発信できるよう、メーリングリストの作成を検討してほしい。
3. 研修会について、365日リハが始まり、限られた人数しか参加できないため、同じ内容の講習会を2回実施するなどの検討してほしい。
4. 理事の任期の延長を検討してほしい。

事業案・予算案は、拍手多数にて承認される。



### 全国学術研修の進捗状況について

- ・震災の中ではあるが、開催の有無について協会に問い合わせしたところ、変更なく開催する方向で進める。
- ・日 時：2011年10月6・7日
- ・場 所：富士屋ホテル・常磐ホテル
- ・大会長：小林伸一先生
- ・テーマ：原点回帰 ～再考・今、理学療法士に何が求められているか～
- ・特別講演：石川誠先生（初台リハビリテーション病院）
- ・市民講座：小山明子（女優）

## 新人教育プログラム修了者51名



平成22年度の新人教育プログラム修了者は51名でした。  
おめでとうございます。  
ここから生涯学習基礎プログラム・専門理学療法士へと進んでください。



### 2010年度新人教育プログラム修了者へのお知らせ

2010年度より新人教育プログラム修了書が協会から郵送されることになっております。それに伴い、修了書が届いていないという連絡が会員の方から生涯学習部にありました。もし、修了書が届いていない方がいましたら、生涯学習部までご連絡をください。

### 新人教育プログラム修了者へのお知らせ

2011年度より、協会への新人教育プログラム修了の手続きが毎月可能となりました。（2010年度までは3月末に1回の更新でした。）新人教育プログラムが修了した際には生涯学習部まで生涯学習手帳をお送りください。

● 郵送先 〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855

山梨リハビリテーション病院 理学療法課 遠藤 公士 宛

● 問い合わせ先 山梨リハビリテーション病院 遠藤 公士・小林 遼

e-mail : end\_koji@yahoo.co.jp 0553-26-3030 (内線：500)

# 各部 活動報告

## 企画局発 たにぞうさん「みんなつながるコンサート」

平成22年度山梨県理学療法士会主催の公開講座が3月13日、かいてらすで開催されました。今回はNHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」などへの楽曲提供や「キューピーたらこダンス」の振り付けなどでご活躍されている、たにぞう(谷口國博)さんをお招きし、親子コンサートを行いました。甲府市内の保育園や児童福祉通園施設、士会員の親子など約160名の方にご参加をいただきました。コンサートは親子での歌、ダンス、絵本の朗読などが行われ、体を動かしたり、歌ったり、笑ったりと、会場は熱気と親子の笑顔で溢れました。

最後にコンサートにご参加いただいた皆様、また、広報活動など今回の企画にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



- 問い合わせ先：企画局公開講座部 井村順治  
(恵信甲府病院リハビリテーション室内 TEL 055-223-7333)

## 広報局発 理学療法の日(7月17日)

7月17日は  
『理学療法の日』



皆さんご存知ですか？**7月17日**は『理学療法の日』です。昭和41年、理学療法士協会が理学療法士110名で結成された日です。

日本に理学療法士が誕生して45年が経ち、110名でスタートした協会の数も約6万人と増加しています。これは、世界理学療法連盟会員数(協会会員数と同等)で大国アメリカを抜き、世界第1位の会員数を誇るまでとなっています。(日本53,751人、アメリカ50,766人 平成22年)

今後も理学療法士数は、さらに増加していくことが見込まれ、職域の拡大が急務であります。(今年は厳しかったですが・・・合格率74.3%)そのためにも多くの方々に理学療法(士)を知っていただく必要があります。

そこで、協会が設立された**7月17日**を「理学療法の日」と定め、この日を基準とする1週間を「理学療法週間」として、全国各地において種々な行事が開催されています。

協会の言葉を抜粋しますが『一協会員＝一広報部員』の気持ちを持ち、我々も理学療法の社会的認識を高めるとともに、これからの理学療法のあり方について考えてみてはいかがでしょうか。

広報部 清水真治

- 問い合わせ先：広報局広報部 清水真治  
(石和温泉病院理学療法室内 TEL 055-263-0111)

## 事務局より

### ●変更手続きについて●

会員データに変更（異動・休会・復会・退会）がありましたら、届出が必要になります。HPに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けるようお願いいたします。

**入会をされていない新人会員の方は、会員登録するようお願いいたします。**

- 異動（勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等）が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙（異動・休会・復会・退会）は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出下さい。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。（捺印がない場合、処理致しかねます）

### ●慶弔申請の窓口は事務局です●

慶弔事項（一親等及び配偶者）が発生しましたら、電話番号・住所等を事務局まで速やかにご連絡をお願いします。

### ●会員証のお申し込みはお済みですか●

会員証は今後、研修会・選挙等の参加の際に必要となります。協会も推進しており、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ●財務部より：楽天カードへの切り替え●

現在、日本理学療法士協会からの通知の通り楽天カードへの移行・会費納入方法の切り替えが行われています。

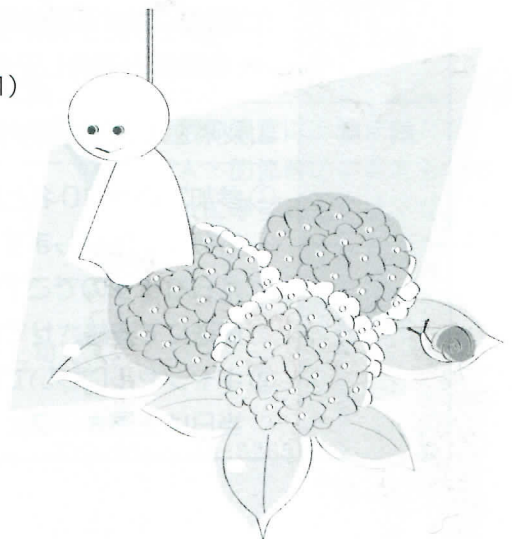
ニコスカードをお持ちの方はお手数料をおかけしますが、楽天カードへの切り替え等変更等、変更手続きへのご協力をお願い致します。

ご不明な点につきましては、下記問い合わせ先にご確認下さい。

### ●問い合わせ先：事務局 斎藤

（甲府城南病院リハビリテーション科内

TEL 055-241-5811）



## 第15回山梨県理学療法士会学術集会開催のお知らせ

- 日 時 平成23年12月11日(日) 午前9:30 受付開始 10:00 開演予定
- 会 場 山梨県立大学 池田キャンパス(予定)
- 特別講演 旭川医科大学脳機能医工学研究センター 教授 高草木薫先生
- 対 象 者 県士会所属理学療法士  
※発表主演者には、新人教育プログラムⅢ-6の単位が認定されます。
- 託児室について
  - 開設時間 平成23年12月11日(日) 9:30~16:00
  - 対象年齢 0歳~小学校低学年 ○定 員 同一時間帯約10名程度
  - 保育料金 半日を1単位とし、一人1単位あたり500円(保険料込み)
  - 食 事 昼食、おやつは各家庭での準備をお願いします。
  - 申込方法 平成23年11月15日までに学術集会部へ e-mail(PC)にてお申し込み下さい。確認後、正式な利用書類をお送り致します。
- 申し込み・問い合わせ先  
学術集会部 菊池 信、清水一彦、鮎川将之  
山梨リハビリテーション病院理学療法課 Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569  
e-mail: gakkaiibu.yamanashi@gmail.com

## 山梨県理学療法士会学術研修会

### ★第1回 山梨県理学療法士会 学術研修会★

日 時	1回目：平成23年7月14日(木) 2回目：平成23年7月21日(木) 両日とも19:00~21:00(受付開始18:30~)
場 所	山梨県立大学 池田キャンパス
テーマ	「口腔内における喀痰吸引等の吸引」 - 他職種と連携し安全な口腔内の一時的吸引を実施するために -
講 師	山梨県立大学 看護学部 教授 遠藤 みどり 先生
その他	①参加定員が80名と限られているため、多くの士会員が参加できるよう2回に分けて開催しますが、研修日時が希望に添えない事態が発生する場合がありますのでご了承下さい。日程が決まりましたら6月24日(金)までに郵送にて連絡させていただきます。 ②キャンセルについては7月8日(金)まで電話にて受け付けます。 当日は上履き、フェイスタオルをご持参下さい。

## ★第2回 山梨県理学療法士会 学術研修会★

日時	平成23年8月28日(日) 10:00~16:00(受付開始9:30~)
場所	未定
テーマ	「物理的刺激(温・冷・電気)を理学療法に活かす ～痛み、関節拘縮、筋機能障害を中心として～」
講師	東京工科大学 菅原 仁 先生

- 問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔  
(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131 FAX 055-226-3158)

## 第111回地域理学療法研修会

- 日時(予定)：平成23年11月6日(日)
- 会場：未定
- 時間：10時~15時予定
- テーマ：「在宅生活を支えるために・・・」 ~理学療法士としてどう関わるか~
- 講師：医療法人真正会 コミュニティケア部 岡野 英樹 先生
- 問い合わせ先：福祉厚生局 地域連携部 中部 大也  
(北杜市立塩川病院内 TEL：0551-42-2221)

## 原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。  
テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他



内容の規定はありませんが、  
個人・団体等の中傷あるいは  
これに準ずるものは不可。

※第131号発行は、9月中旬を予定している為、締め切りは、8月上旬です。

問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟  
(一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255)  
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

# リレーエッセイ ~途絶えることのない バトンを君に~

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

## Part12-1

山梨県立あけぼの医療福祉センター 笹本高央

湯村温泉病院の井田徹先生からバトンを預かりましたあけぼの医療福祉センターの笹本高央です。

私は、最近ちょっと不思議な体験をしたのでお伝えします。私は、朝日新聞の毎週土曜日に挟まれる「be」という欄であるNPO法人を知り、興味を持ったのでその団体が主催するイベントに参加してきました。そのイベントの内容は、目が慣れても眼前の物さえもわからない「純度100%の暗闇」の中でアテンダント役の視覚障害者に導かれながら、約90分間を少人数で進み様々な体験をするというものでした。参加者の体験後の感想は、暗闇に対しても圧迫を感じた人や逆に広く感じ怖かった人など様々でした。私は、初めは前に進むのさえも怖さがありましたが、恐る恐る白棒と片手をさぐりながら進んで行くと、その気持ちは一変し、恐怖心が徐々に解け、驚きや新しい発見への楽しさ、共有する心地よさへと変わりお互いのペースに合わせてながら進んでいく事ができました。また、アテンダントの方とも気軽に会話ができた事も貴重な体験で良かったです。



NPO法人側の実施目的としては、視覚障害者に対して雇用の場の拡大や人に頼られるという経験を積ませたい事、参加者へは暗闇によって固定観念のない対等な場を提供する事、不安や孤立などの経験を感じさせる等があるようでした。

夏を前に、おばけ屋敷とは違う感覚の体験はいかがでしょう。

今回は、『独立行政法人国立病院機構 甲府病院の浅野厚雄先生』へ

バトンをお願いします。

## Part12-2

石和温泉病院 清水友哉

山梨県立中央病院の山田友希先生からバトンを受けました石和温泉病院の清水友哉です。

私の生まれは岐阜県の郡上という所で、水と踊りの町と言われています。町には長良川が流れ、お盆には徹夜で踊り明かす郡上踊りというお祭りがあります。

そんな岐阜から山梨に来て早くも4年が経ちました。地元が大好きな私ですが、今は山梨に染まりつつあります。山梨に染まっていく大きな要因は、なんと言ってもヴァンフォーレ甲府です。元々サッカーは好きだったのですがファンと言えるチームはなく、先輩に誘われていったのが始まりでした。

最初は所詮J2と思いながら見に行ったのですが、スタジアムの雰囲気やキャラの濃いチームにすぐに引き込まれてしまいました。当初はたまに同僚と見に行く程度だったのですが、今では毎試合一人でも乗り込んで応援する始末。365日リハビリ体制の中で休みはサッカーに合わせて取るようになってしまいました。おかげでヴァンフォーレ甲府仲間も出来ました。この日は、今シーズン初勝利でみんな上げ上げです。

スタジアムには小さい子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広く本当に地域に愛されているチームだなといつも勝手に思っています。去年の最終戦は岐阜のチームとの対戦でしたが、完全に甲府を応援していて岐阜愛を忘れてしまっていました。ピンチです。

まだまだ甲府サポーター歴は浅く、古くから応援している方々を前にこんな事を言うのは恐れ多いですが、ヴァンフォーレ甲府は本当に週末を楽しみにさせてくれます。今年は再びJ1の舞台で戦うことになり、遠藤や俊輔とか強敵が乗り込んできます。J1に定着するために、皆さんでやつらを迎え撃ちましょう。

今回は、『健康科学大学の金 承革先生』です。宜しくお願いいたします。



## 編集後記

初夏の風に肌も汗ばむ頃、本年度から2年間会報部部長をつとめさせていただきます、一宮温泉病院、いちのみや訪問看護ステーションに所属しております、菊池 悟と申します。昨年度までの清水会報部長より引継ぎ、会員の皆様が楽しんで読んでいただけるよう、よりよい Supporters を作成していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。



- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 小野 貴博 糸井 美里 矢崎 博美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754  
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256  
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434  
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp